

家庭の学び

子どもの思考力・判断力・
表現力を伸ばす家庭とは

2015.3.28 [土]

時間 / 13:00-16:00

会場 / 京都大学 東京オフィス

受講料 / 3,000円 | 最後まで受講された方には京都大学より受講証を発行いたします

〔主催〕 京都大学 〔後援〕 読売新聞社・読売教育ネットワーク

今、家庭のあり方は、少子化や核家族化、さらに女性の社会進出や価値観の多様化などにより、大きな変化を迎えています。このような時代のなか、親はどのようにして子どもに向き合い、子どもの力を伸ばしていくことができるのでしょうか。これからの学校教育で求められているもの、そのなかで親が果たすべき子どもへの教育と役割、さらに親と子の心理学の観点など、さまざまな方向から「家庭の学び」について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講演 1

13:00-
13:50



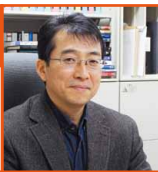
講師
溝上 慎一
高等教育研究開発
推進センター
教授

子どものアクティブラーニングを支える家庭の教育・役割

現在、小学校から大学までの間で、知識習得の学習にディスカッションやプレゼンテーション等の活動を取り込んだ授業「アクティブラーニング」の導入を目指しています。関係性や将来を考える力が密接に関連するアクティブラーニングを家庭でどう支援するか、親の教育・役割の観点を含めてお話します。

講演 2

14:00-
14:50



講師
齊藤 智
教育学研究科
准教授

ワーキングメモリ理論から学びの基盤を考える

ワーキングメモリとは、読書や暗算、思考や判断といった、さまざまな心的活動の最中に、一時的に必要な情報を覚えておくための記憶を指します。この記憶の働きが、どのようにして「学び」を支えているのかについて、心理学の研究例を紹介しながら検討していきます。

意見交換

15:10-
16:00



ファシリテーター
高見 茂
京都大学 理事補、
教育学研究科
教授

講演を受けて、参加者と講師、ファシリテーターで意見交換を行います。今回のテーマである家庭での学び、教育についてより深く理解し、考えることができればと思います。

【開催場所・問い合わせ先】

京都大学 東京オフィス 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟27階
 【TEL】 03-5479-2220 【FAX】 03-5479-2221 【E-mail】 t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp
 【URL】 http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/

申し込み
方法

京都大学 東京オフィスのホームページから申込用紙をダウンロードし、FAXまたはメールでお申し込み下さい。定員50名、申込締切は2015年3月16日(月)です。お申し込み後、京都大学 東京オフィスより受講手続きのご案内をいたします。

